

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	食の自立支援事業(配食サービス)	2-6
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	森本 栄樹

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	食事をすることが困難な高齢者等に対し、月から金曜日までのうち希望に応じて、栄養バランスのとれた夕食を配達し、かつ、安否を確認する。		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	在宅の高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	栄養バランスのとれた食事を直接提供することにより、当該利用者の健康維持並びに健康状況・安否の確認ができるようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	市社会福祉協議会に業務を委託しており、利用者に夕食を配達した際に直接、自己負担として350円を頂き、当該利用者の安否を確認を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	他市町村においても同様の事業を実施している。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	10,711	9,399	9,125	10,374
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,295	1,243	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	12,006	10,642	10,022	
事務に従事した正職員延べ人数	0.15	0.15	0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
延べ利用者数(人) 平成17年まで旧石狩分のみ	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	1,790	2,144	2,069	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
年間延べ配食数(食) 平成17年まで旧石狩分のみ	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	23,205	31,328	30,416	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	2
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	
(2) 効率性		ウ 事業内容	2
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		対象者に対し、栄養バランスの良い食事の提供と、安否確認を行うサービスを適切に実施した。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		本事業については、介護予防効果が期待できる事業であることから継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		在宅高齢者の日常的な食事を支援し、健康面からの介護予防事業の一環として良好に実施している。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		配食体制の課題もあるが、提供する配食数や配食内容のほか、利用者負担のあり方などの検証が必要。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		利用者負担の見直しを行う。	